



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



ゲイリー C.K.ホアン 2014-15年度RI会長

No. 9

会 長 君 島 准 逸
 幹 事 飯 島 芳 臣
 クラブ会報委員長 小野垣 義 男
 第 3 週 2014年 9月19日 (金)
 例 会 毎週金曜日 12時30分
 例 会 場 ホワイトイン高崎
 事 務 所 高崎市本町144-1

光明第7ビル202号室
 T E L 027-328-3371
 F A X 027-328-3372
<http://www.takasakisympathy-rc.org>
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp

事務局員 浅見 洋子
 本日のプログラム ゲスト卓話
 社会福祉法人 希望館
 理事長 松沢 斉氏
 ロータリーソング 手に手つないで

- ・神戸東灘RC週報
- 理事会報告**
- ・会長エレクト交替の件
- ・RLI参加の件
- ・広島豪雨被害の義捐金の件

委員会報告

- ・御誕生日祝
 豊泉 君代君
 林 章君
- ・出席率100%
 君島 准逸君
- ・ニコニコBOX
 井汲 憲治君 (明日は息子の結婚式です)
 小野垣義男君 (涼しくなりましたが風邪が多くなっていますのでご注意下さい)
 三村 浩司君 (横田さん入会ありがとうございます)
 豊泉 君代君 (御誕生日祝)



第 851 回例会報告

第1週 9月5日 (金)

御来訪者 0名
 出席報告

会 員 数	40 名
出席計算人数	40 名
本日出席者	30 名
本日出席率	75.00%
先々週出席率	71.79%

幹事報告

- ・新会員 横田雅則君紹介



- ・親睦委員会
 9月12日(金)納涼夜間例会のご案内とアレルギーに関するアンケート
- ・地区青少年交換委員会
 会議等近況報告
- ・ロータリー財団BOX
 飯島 芳臣君 八木建司朗君
 君島 准逸君 金子 秀隆君
 三浦 敦朗君
- ・米山奨学会BOX
 飯島 芳臣君 橋本 勝廣君
 長井 典夫君 西園 勲君
 豊泉 君代君

次回例会予告

第4週 9月29日 (月)
 高崎RC合同親睦例会
 会場…高崎ビューホテル 2F
 「HARUNA」
 点鐘…18:30

- ・例会変更
 前橋北RC 富岡かぶらRC



会員増強と ロータリーについて

高崎シンフォニーロータリークラブ
会長 君島 准逸

新しい年度がスタートして、あっという間に2ヶ月が経過いたしました。皆様のご協力のおかげをもちまして、「クラブ協議会」、そして「クラブ総会」という二つの行事を無事に終えることができ、さらに新入会員として横田雅則君をお迎えできましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。また、各委員会では既に本年度の計画及び目標に向けて着々とプロジェクトが動き出しております。

そんな中で、8月は「会員増強月間」ということでございました。

当クラブは1995年（平成7年）に創立され、創立時は会員数42名でスタートいたしました。その後、経済情勢の変化などによって会員数は増えたり、減ったりという状況で推移し現在に至っておりますが、会員が一番多かった時期は2000年（平成12年）の56名でありました。残念ながら、この年度以降は減少傾向が続いており、今年度は39名でのスタートとなりましたが、現在は1名増の40名となっております。

会員増強は、近時大変難しい状況となっておりますが、来年度は当クラブ創立20周年という区切りの年になりますし、景気もアベノミクスの影響によって好転しておりますので、何とか創立時の42名には戻したいと思っております。

現在、ロータリークラブは世界各国200以上の国と地域に広がって、クラブ数は約3万4千5百、会員数は約118万5千人となっております。そして、日本のロータリークラブは2,281クラブ、会員数は約88,500人で、群馬県では46クラブ、会員数約1,900人となっております。

会員を増やすためには、我々が「ロータリーとは何か」を十分に理解していなければなりません。そうでなければ、会員増強は机上の空論と化してしまうでしょう。そこで、入会間もない会員のために、「ロータリーとは一体何なのか」ということを改めて確認したいと思っております。

読まれざるベストセラー「ロータリーの友」の6ページをお開き頂くと、「ロータリーの目的」の項があります。読んでみますと、なにやら堅苦しい「言葉」が並んでおりまして、途中でもういやと、最後まで読み通すことが苦痛になるかと思いますが、実はこれこそが「ロータリーの究極の理念」なのであります。この「目的」には1から4まで「4つの事項」が掲げられていますが、要するに「ロータリークラブ」の究極の目的は、「我々の職業（事業）を基礎に、地域社会や世の中の為に何か役立つ奉仕を行う」こと…これが「ロータリークラブ」の目的であると私は理解を

しております。このことにつきましては、皆さんと改めて再認識をしながら、おいおい理解を深めて行きたいと思っております。

そもそも、ロータリークラブの出発点は、シカゴ在住の弁護士ポール・ハリス氏が信頼できる仲間達と親睦を図ることが目的でありました。したがって、「奉仕」と「親睦」の2つが昔からロータリーの中核的価値、すなわち、よく言われる「車の両輪」ということになります。

この親睦の言語“Fellowship”は、昨年度の本田パストガバナーの言うところでは、「仲間であること、仲間意識、友情」ということだそうです。つまり、我々が単に酒を飲んだり、ゴルフをしたりするというだけではなく、哲学的に言い換えるのであれば「奉仕の心の研鑽や地域社会での奉仕の実践などを通じて、ロータリアンとの親交を育む」のが“Fellowship”だということです。まさにこれは、我々「高崎シンフォニーロータリークラブ」が常日頃から実践してきているところと相違ないと改めて確信した次第です。

また、当クラブは昨年度、兵庫県の「神戸東灘ロータリークラブ」と友好クラブの締結をいたしましたので、この11月初旬には神戸を訪問することが決定しております。是非、多くの会員が訪問できることを願っております。この訪問に先立ちまして、8月6日から当クラブの白石会員が率いる高崎市議会の最大会派「新風会」が、あの、超進学校として名高い「灘中・灘高」を訪問したとの報告がありました。会員諸兄は既にご存じのところですが、灘校の校長は、神戸東灘ロータリークラブの昨年度の幹事であり、まさに今回の「新風会」の学校視察は「ロータリアンとしての友情」そのものであります。

このように、一般の方ではなかなか知り合う機会がない著名な方々とも仲間になれるのがロータリアンとしての「特権」であると思っております。

過日、皆さんにお配りした「ロータリー入門書」は2013年の規定審議会に準拠したもので、平成26年5月30日に改訂版として発刊されたものです。過去に発行された「入門書」とはR I理事会決定事項が相違しておりますので、再度読み直して頂ければと思います。しかも、この著者は桐生ロータリークラブの前原勝樹（かつたか）パストガバナーと高崎北ロータリークラブの重田政信パストガバナーの共著でございますので、我々にとっては親しみもあり、顔を思い浮かべながらご一読して頂ければありがたいと思います。

最後に、今年度は竹内ガバナーの方針にもありますように、「ロータリーの基本」を再確認することですので、当クラブでは横山クラブ研修リーダーを中心として、機会があるごとに、この「入門書」を読み進めて行きたいと考えております。飲み会と比べますと、かなり気乗りしないところがあるかとも思いますが、ロータリアンとして「人間力」を高めるためには通らなくてはならない「道」であるご認識頂き、会員全員で頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。